

# 臨床心理室

廣常 秀人（室長）

仲倉 高広（主任）

## 概要

1999年まで臨床心理士は、精神科の非常勤1名で心理テストを主な業務として取り組んできた。1998年にはエイズ予防財団よりカウンセラーが、翌年3月より同財団より臨床心理士1名が配置され、感染症内科で、HIV陽性者やその家族等の心理相談や心理テストに取り組み、診療科を限定した臨床心理学的援助を提供してきた。

2005年には、非常勤2名と財団からの派遣1名に加え、常勤臨床心理士が採用され、4名体制となった。

精神科、感染症内科、小児科と配属されている診療科の患者・家族等への臨床心理学的援助を行ってきたが、2005年10月31日に1階地域医療連携室の向かいに相談室2部屋とスタッフルーム1室が開設され、心理相談室が一箇所に集約された。

2007年7月には、①理念に基づく事業であること、②質の高い医療の提供に貢献すること、③疾患と心理状態の関連が研究されていること、④医療者－患者関係と保健行動との関連で医療の効果が左右すること、⑤診療科間のサービスの格差をなくすことの5点の目的や理由により、精神科や感染症内科、小児科に限らず、全診療科の患者やその家族等に対応可能な臨床心理室として再編された。スタッフも常勤臨床心理士1名、非常勤臨床心理士2名、エイズ予防財団リサーチレジデントの臨床心理士1名から2009年度には、常勤3名、非常勤2名、リサーチレジデント2名と7名体制となった。加えて、2011年4月には、HIV感染症被害者遺族相談事業の専門家相談員として臨床心理士が1週間に2日勤務することになった。

## 活動報告

### ・スタッフ

臨床心理室長：廣常秀人（兼精神科科長）

常勤スタッフ：仲倉高広、森田眞子、安尾利彦

非常勤スタッフ：大谷ありさ、藤本恵里

リサーチレジデント：倉谷昂志、宮本哲雄

専門家相談員：西川歩美

### ・主な業務内容

心理相談

心理検査

リエゾン・コンサルテーション：感染症内科カンファレンスやがんサポートチームカンファレンスへの参加

臨床心理室運営会議

教育研修：院内研修や院外組織での研修講師、学会発表

カンファレンス（事例検討）：毎週木曜日

インテークカンファレンス：毎週金曜日

近畿管内のメンタルヘルス相談（常勤スタッフのみで対応）

各種委員会等

### ・活動状況

#### 【実践】

#### 1) 心理相談件数

年間相談回数、年間新規依頼相談件数、一日当たりの心理相談件数とも、2011年度は増加している。一日当たりの相談件数に関しては、2008年度に比べ、2011年度はほぼ2倍の15～16件となっている。

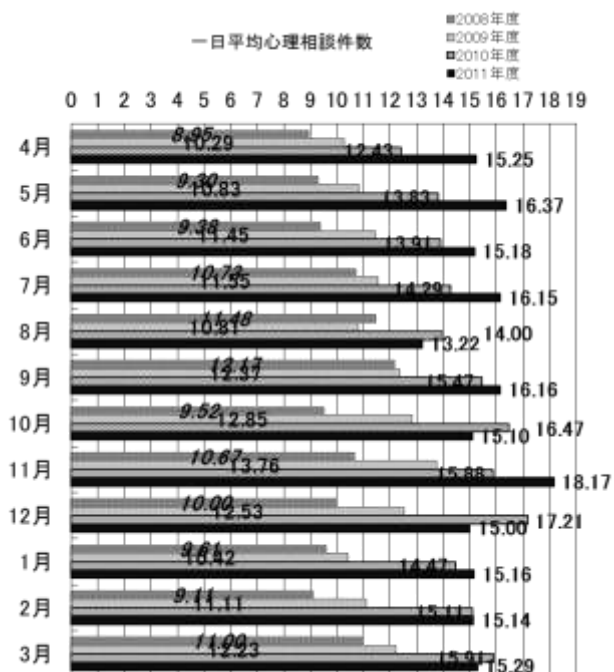
相談件数、新規依頼の相談の6～7割は感染症内科となっている。

心理相談総数（2011年度/2010年度/2009年度）

	HIV	精神	小児	がん	他	計
4月	200/162/145	29/23/14	18/20/18	9/22/10	49/34/29	305/261/216
5月	225/159/131	28/21/14	14/22/12	2/16/10	42/31/28	311/249/195
6月	229/212/182	28/27/23	21/24/16	7/16/9	49/27/22	334/306/252
7月	230/198/172	30/23/20	12/23/25	11/16/17	40/40/16	323/300/250
8月	214/205/166	30/22/11	16/28/18	2/14/10	42/39/21	304/308/226
9月	208/202/173	34/22/11	15/20/16	2/10/18	48/40/17	307/294/235
10月	207/214/182	32/26/11	15/15/20	3/15/17	45/43/27	302/313/257
11月	218/173/161	31/24/12	18/15/25	0/8/15	60/50/21	327/270/234
12月	178/211/172	28/23/11	11/21/21	0/9/13	68/63/21	285/327/238
1月	192/189/132	24/19/12	17/16/24	1/10/1	54/41/29	288/275/198
2月	212/200/143	31/19/16	13/15/19	0/7/4	62/41/29	318/282/211
3月	204/255/174	30/30/17	21/15/20	1/2/13	65/48/43	321/350/267
計	2517/2381/1938	355/279/172	191/234/234	38/146/137	624/500/303	3725/3540/2784
平均	209.75/198.4/161.5	29.58/23.3/14.3	15.92/19.5/19.5	3.17/12.2/11.4	52.0/41.7/25.3	310.42/295/232

新規依頼（2011年度/2010年度/2009年度）

	HIV	精神	小児	がん	他	計
4月	7/8/5	2/1/0	0/0/2	1/8/4	1/2/1	11/19/12
5月	6/12/10	0/3/0	0/2/1	0/3/2	2/0/6	8/20/19
6月	10/12/14	0/0/4	1/0/1	3/2/0	1/1/1	15/15/20
7月	13/12/11	0/0/0	0/1/3	0/2/2	3/2/1	16/17/17
8月	7/14/5	1/1/0	0/1/0	0/1/0	2/5/3	10/22/8
9月	6/9/6	2/1/0	0/0/0	0/3/4	3/3/0	11/16/10
10月	8/5/3	0/0/0	1/1/1	0/2/3	5/2/5	14/10/12
11月	6/7/6	1/0/0	0/2/1	0/1/0	4/2/3	11/12/10
12月	5/11/9	1/0/0	0/0/1	0/1/1	3/2/2	9/14/13
1月	2/9/3	1/0/2	0/0/2	0/1/0	2/1/3	5/11/10
2月	3/7/4	0/1/3	0/0/1	0/1/0	1/1/2	4/9/10
3月	2/9/11	0/1/0	3/0/0	1/0/4	0/2/2	6/12/17
計	75/115/88	8/8/9	5/7/13	5/25/20	27/23/29	120/178/159
平均	6.25/9.6/7.8	0.67/0.7/0.44	0.42/0.7/1.1	0.42/2.1/1.78	2.25/1.9/2.4	10.0/14.8/13.56



心理検査 (11/10/09 年度)

4月	13/16/23
5月	12/11/25
6月	20/16/17
7月	13/22/31
8月	26/23/34
9月	12/12/22
10月	19/11/30
11月	13/17/14
12月	13/1/15
1月	14/7/16
2月	11/12/15
3月	13/18/15
計	19/196/257
月平均	14.92/16.6/21.4

2) 心理検査

2009年度より、成人の神経心理学的検査を言語聴覚士が分担することになり、件数が減ってきていたが、昨年度に比し、今年度は小児期の発達検査や神経心理学的検査が微増してきている。

3) 感染症内科初診時におけるメンタルヘルスクリーニング検査

2008年度は123名(初診250名中:42.2%)、09年度は130名(206名中:63.1%)、10年度は176名(初診259名中:68.0%)、11年度は127名(初診名中:%)であった。

2009年度より、初診から1年後に再度同スクリーニング検査を行い、診療録に記載し、患者に結果の説明と1年間の変化など面接を行ってきた。2009年度には29名に行い、10年度には82名、11年度には105名に実施した。

患者自身が心理相談を利用するかどうかを考える機会になっていると思われ、結果の説明後に心理相談に移行する事例もある。

4) その他の活動

- ・臨床心理室運営会議：第24～27回(4月、5月、10月、3月)の計4回開催した。
- ・実習受け入れ：追手門学院大学、放送大学、神戸親和女子大学の合計大学院3校から、修士課程2年制の実習生を合計4名受け入れた。

- ・メンタルヘルス相談
- ・臨床心理室セミナー：3回実施（うち1回、院内定期講演会）：
- ・採用2か月目看護師研修会：2グループ実施
- ・看護師向け 臨床心理室活用に関する研修会：2回実施
- ・新入職者オリエンテーション
- ・看護学校実習指導者研修
- ・看護学校新入学者へのメンタルヘルスの講義
- ・近畿ブロック中核拠点病院カウンセラー会議と研修会：6月10日
- ・エイズ予防財団主催との共催研修「検査場の相談における研修会」
- ・認定薬剤師への講義と実習（コミュニケーション）指導：
- ・各種実習者への HIV 陽性者の心理についての講義
- ・西日本国立病院機構 HIV/AIDS 研修、コミュニケーション研修
- ・臨床心理室スタッフ向け：事例検討会：3回；5事例実施
- ・研究：「HIV 陽性者の心理学的問題と対応に関する研究」研究分担、(『HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究』研究代表者：白阪琢磨)、「抗 HIV 療法に伴う心理的負担、および精神医学的介入の必要性に関する研究」研究協力、(『HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究』研究代表者：白阪琢磨)、「カウンセリングの質の担保に関する研究」研究協力、(『HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究』研究代表者：山本政弘)、「問題領域別カウンセリング支援方法に関する研究」研究協力、(『HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究』研究代表者：山本政弘)
- ・各種委員会：メンタルヘルスサポート委員会、虐待防止委員会、HIV/AIDS 先端医療開発センター会議、がん相談センター会議、リボンズコンサート運営、遺族相談、遺族健康診断、アドベンチャーHospital in 大阪、近畿ブロック管内のメンタルヘルス相談、大阪南医療センター兼任（医療過誤家族のサポート）、京都医療センター兼任（2011年9月末で終了）

## 今後の課題と目標

「臨床心理室スタッフの教育体制を整える。」を基本方針に、目標として、全診療科対応に向けた臨床心理室の適切な運営と各臨床心理士の適切な実践への支援を目指していきたい。

### 【2011年度研究発表業績】

A-2

仲倉高広：チーム医療。『心理臨床事典』日本心理臨床学会編、丸善出版、2011年7月

A-5

仲倉高広、飯島恵道、伊賀陽子、池田和子、上平朝子、梅本愛子、枝木美香、榎本てる子、岡本学、小西加保留、下司有加、富成伸次郎、中道基夫、西田恭治、松岡千代、山中京子、吉野宗宏、宮本哲雄：HIV 陽性者の心理学的問題の現状と課題に関する研究。厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究」平成 23 年度研究報告書、p、2012 年 3 月

仲倉高広、白阪琢磨、青木理恵子、飯島恵道、伊賀陽子、池田和子、上平朝子、梅本愛子、枝木美香、榎本てる子、岡本学、小西加保留、下司有加、城崎真弓、富成伸次郎、友田安政、豊島裕子、中道基夫、鍋島直樹、西田恭治、船附祥子、松岡千代、安尾利彦、山中京子、吉田哲彦、吉野宗宏、宮本哲雄、大北全俊：HIV 陽性者の心理学的問題の現状と課題に関する研究。厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究」総合研究報告書、p91-104、2012 年 3 月

仲倉高広、伊藤良子、大谷ありさ、倉谷昂志、藤本恵里、宮本哲雄、森田真子、安尾利彦：問題領域別カウンセリング支援方法に関する研究。厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」平成 23 年度報告書、p127-147、2012 年 3 月  
安尾利彦：カウンセリングの質の担保に関する研究。厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究平成 23 年度報告書、p、2012 年 3 月

B-2

Nakakura T, Yasuo T, Otani Y, Shimoji Y, Shirasaka T : Neuropsychological impairments in patients infected with HIV in Japan. The 10<sup>th</sup> International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Busan, Korea, 2011 年 8 月

Yasuo T, Nakakura T, Otani A, Morita M, Fujimoto E, Kuratani T, Miyamoto T, Shimoji Y, Hirotsune H, Shirasaka T. Mental Health and Substance Abuse of HIV Infected Patients in an Outpatient Clinic in Japan. The 10<sup>th</sup> International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Busan, Korea, 2011 年 8 月

B-4

大谷ありさ : 初診時から 1 年後の HIV 感染症患者のメンタルヘルス。第 30 回日本心理臨床学会、福岡、2011 年 9 月

藤本恵里 : 女子大学生における摂食障害傾向とアレキシサイミアとの関連。第 30 回日本心理臨床学会秋季大会、福岡、2011 年 9 月

倉谷昂志 : 自己イメージと遺伝イメージの関係性から捉えた青年期のアイデンティティの一考察 (I) —多次元自我同一性尺度と描画法を用いて—。日本心理臨床学会第 30 回・秋季大会、福岡、2011 年 9 月

宮本哲雄 : 心の整理法による気分変化とその意義について —心の整理法ワーク 11「気持ちにケリをつける」に焦点を当てて—。日本心理臨床学会第 30 回秋季大会、福岡、2011 年 9 月

仲倉高広、宮本哲雄、小西加保留、山中京子、松岡千代、白阪琢磨 : HIV 医療における施設ごとのチーム医療の状況を把握する試み。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

森田眞子 : HIV 感染症症例への当院緩和ケアチームの介入について～チームスタッフの介入前後の姿勢の変化について。第 25 回日本エイズ学会、東京、2011 年 11 月

倉谷昂志、廣常秀人、安尾利彦、大谷ありさ、仲倉高広、森田眞子、藤本恵里、宮本哲雄、西川歩美、上平朝子、白阪琢磨 : 精神科医を対象とした研修会受講後の HIV 感染症患者への理解、認識の変化について。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

宮本哲雄、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、西川歩美、下司有加、治川知子、東政美、今井敏幸、廣常秀人、白阪琢磨 : 神経心理学的障害の自覚に関する研究。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

牧野麻由子、古谷野淳子、加藤朋子、塚本琢也、北志保里、松岡亜由子、仲倉高広、森田眞子、安尾利彦、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄、喜花伸子、辻麻理子、高橋佳子、飯田敏晴、山中京子 : HIV カウンセリングの実践内容の明確化の試み。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 11 月

仲倉高広、下司有加、織田幸子、岡本学、富成伸次郎、白阪琢磨 : がんを併発した HIV 陽性患者の心理療法について。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

安尾利彦、仲倉高広、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄、西川歩美、下司有加、治川知子、東政美、今井敏幸、廣常秀人、白阪琢磨 : HIV 感染症患者の初診時におけるメンタルヘルス。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

大谷ありさ、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄、西川歩美、下司有加、治川知子、東政美、今井敏幸、白阪琢磨、廣常秀人 : 初診時から 1 年後の HIV 感染症者の心理状態。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

藤本恵里、大谷ありさ、仲倉高広、森田眞子、安尾利彦、倉谷昂志、宮本哲雄、西川歩美：HIV 医療における心理士の院内連携の形態とその特徴。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

富成伸次郎、安尾利彦、山中京子、白阪琢磨、中山健夫：HIV 感染症患者の受診中断予測因子およびカウンセリングとの関連についてのケース・コントロール研究。第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2011 年 12 月

#### B-8

仲倉高広：子育て。全国フィモフィリアフォーラム、大阪、2011 年 4 月

安尾利彦：メンタルヘルス。大阪医療センター附属看護学校、大阪、2011 年 4 月

安尾利彦：メンタルヘルス。大阪医療センター新入職者オリエンテーション、大阪、2011 年 4 月

安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄：自己理解・他者理解。大阪医療センター看護新人コース研修、大阪、2011 年 5 月

森田眞子：服薬支援～カウンセラーの視点から、および服薬支援ロールプレイ。HIV 感染症薬物療法薬剤師養成研修、大阪、2011 年 5 月

倉谷昂志：「職業としての心理学」。追手門学院大学心理学科総合科目 1、大阪、2011 年 5 月

西川歩美：コメンテーター。平成 23 年度遺族交流会、高松、2011 年 5 月

仲倉高広、宮本哲雄：対人関係。非常勤講師、2010 年度認定看護師教育課程、皮膚排泄分野、京都橘大学看護教育研修センター、京都、2010 年 6 月

安尾利彦：HIV/AIDS 医療におけるカウンセリング研修会－入門編－院内カウンセラーグループ事例検討ファシリテーション、東京、2011 年 6 月

森田眞子：服薬支援～カウンセラーの視点から、および服薬支援ロールプレイ。HIV 感染症薬物療法薬剤師養成研修、大阪、2011 年 6 月

森田眞子：がんと共に生きる人への心理的援助～「これからのことを考えると頭がパンパンになってくる」という訴えにどう寄り添うか～」。パリアティブケア研究会第 4 回合同事例検討会、広島、2011 年 6 月

安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄：心理士体験①「質問紙で自分の性格を知ろう」・心理士体験②「投影法で自分の性格を知ろう」。アドベンチャー in Hospital 大阪医療センター、大阪、2011 年 6 月

仲倉高広：、臨床心理室の紹介。「ECHO」、バイエル薬品株式会社発行、2011 年 7 月

安尾利彦：カウンセリングと心理検査その内容と具体的な依頼方法。大阪医療センターミニ勉強会カウンセリングを上手く活用するために、大阪、2011 年 7 月

西川歩美：コメンテーター。平成 23 年度遺族相談員研修会、大阪、2011 年 7 月

仲倉高広：スピリチュアルケア。非常勤講師、関西学院大学大学院、兵庫、2011 年 8 月

森田眞子：「これからのことを考えると頭がパンパンになってくる」という遺伝性腫瘍をもつ方への心理的援助。京都町屋勉強会事例検討会、京都、2011 年 8 月

仲倉高広：チーム医療の実際、大阪医療センターHIV/AIDS 看護師研修（第1回）、大阪、2011年9月

仲倉高広：チーム医療の実際、大阪医療センターHIV/AIDS 看護師研修（第2回）、大阪、2011年9月

安尾利彦：HIV 陽性者の心理的支援。大阪医療センターHIV/AIDS 看護師研修（第1回） HIV 陽性者の心理的支援 大阪、2011年9月

安尾利彦：事例提供。大阪精神分析セミナー、大阪、2011年9月

安尾利彦：心理支援、カウンセリングとは。エイズ予防財団 HIV 検査相談研修会、大阪、2011年9月

安尾利彦、森田眞子：グループワークファシリテーター。エイズ予防財団 HIV 検査相談研修会、大阪、2011年9月

安尾利彦：職場のメンタルヘルス。人事院第41回近畿地区係長研修、大阪、2011年9月

森田眞子：経過途中で OD を引き起こした陽性者への心理的援助。HIV/AIDS 医療におけるカウンセリング研修会、大阪、2011年9月

仲倉高広：薬物依存。平成23年度 HIV 感染症医師実地研修会（1ヶ月コース）、大阪、2010年10月

安尾利彦：HIV とカウンセリング。HIV 感染症医師実地研修、大阪、2011年10月

安尾利彦、森田眞子：ファシリテーター。近畿ブロックエイズ診療拠点病院ソーシャルワーク研修会、大阪、2011年10月

西川歩美：コメンテーター。平成23年度遺族交流会、富山、2011年10月

仲倉高広：血友病小児の成長と自立を考える。東北ブロック医療等相談会、宮城、2011年11月

仲倉高広：さまざまな依存をもつ HIV 陽性者のロールシャッハ・テスト。問題領域別カウンセリング支援の方法の事例検討会、大阪、2011年11月

安尾利彦：HIV 陽性者の心理的支援。池田保健所 HIV/AIDS 学習会、大阪、2011年11月

安尾利彦：薬物使用を行う HIV 陽性者への関わり～臨床心理士の立場から～。関西 HIV 臨床カンファレンス HIV 感染症と精神科領域の連携～薬物依存の問題～、大阪、2011年11月

大谷ありさ：事例提供。HIV 感染症と他の困難な状況を抱え持つ事例の心理療法の事例検討会、大阪、2011年11月

仲倉高広：心が身体に及ぼす影響。遺族相談会、大阪 HIV 薬害訴訟原告団、京都、2011年12月

安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、倉谷昂志、宮本哲雄、西川歩美：コメンテーター。平成23年度遺族交流会、京都、2011年12月

仲倉高広：HIV 医療におけるカウンセリングを通して見えてくるもの。京都府立鴨沂高等学校、京都、2011年12月

安尾利彦：HIV とカウンセリング。平成 23 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2012 年 1 月

西川歩美：コメンテーター。平成 23 年度遺族相談員研修会、大阪、2012 年 1 月

安尾利彦：陽性者のサポート。chot CAST なんば 3 大プログラム HIV/エイズ・B 型肝炎研修会、大阪、2012 年 2 月

仲倉高広：臨床心理士って？～どんなサービスを受けられるの？。万葉友の会（ヘモフィリア）、奈良、2012 年 3 月

安尾利彦：平成 23 年度 HIV 感染者等保健福祉相談事業相談員連絡会議 地域別討議ファシリテーション、東京、2012 年 3 月

#### **B-9**

仲倉高広：臨床心理面接とクライアント論（第 25 回）、HIV 医療における心理療法。放送大学授業番組、千葉、2011 年 4 月